

大切な里山を守り育てていく

古くから私達の暮らしを支え、多くの恵みを与えてくれた里山。その里山の荒廃が急速に進んでいます。現在、薪炭林や農用林としての価値は減少しています。環境学習の場として、レクリエーションや癒しの空間として、さまざまな面でその重要性が見直されています。皆さんも、里山の大切さをもう一度考えていただき、次世代を担う子ども達に、豊かな自然環境を残していきたいように。

里山とは？

言葉に何となく懐かしい響きを持つ「里山(さとやま)」。皆さんは里山とはどのような山かご存知でしょうか。里山とは、「都市(集落)と、奥山(原生林)の間にあってきた集落周辺の山々です。コナラなどの落葉広葉樹林や、アカマツ林が里山の主なもので、薪炭林や農用林として古くから人々の生活に深く関わってきました。

猪名川町の里山整備

本町の約80%を占める森林は、木材・キノコなどの林産物の供給をほたけ、山火災害や地球温暖化の防止、洪水や濁水の緩和・レクリエーションへの活用など、人々が快適な生活を送るための維持・向上に大きく貢献しています。人々の生活を支え、四季折々に美しい表情を見せて、そこに生きる人々に豊かな恵みをもたらす里山の自然を次世代に引き継ぐため、自然災害に強い森林を育てるとともに、森林の他用途への転用に対応し、安全で潤いのある森林整備を進める必要があります。本町では、平成14年に開催した「ひょうご森の祭典2002」をはじめ、同15年には

里山の現状

生活や農業に石油・石炭や化学肥料が使われるようになってきました。

近年森林は、自然とふれあうレクリエーションや環境教育の場として、人々の心を癒すリフレッシュの場として、さらには野生生物の急激な減少や絶滅が危惧されている中で生物の多様性を守る空間として、今までも増して里山



大野山頂で植樹後の下草刈りをする生徒達

「猪名川町森林整備計画」を策定し、これに基づき人と森との共生をめざす「森づくり」に努めています。これらにより森林に対するさまざまな要請に応えることできる、多様で健全な森林の育成・保全を図り、住民の皆さんの理解と参加を得ながら、森林整備を推進することとしています。

「下草刈りや枝打ち、不要木の伐採・植林を行うなどの地道な事も行っています。今後、その地域に応じた多様な動植物が育つ、明るい里山を育てていくことを基本方針として、森林の保全に取り組んでいきます。」

記事およびボランティア団体への問い合わせは、農林商工課(766・8709)へ。



自分のペースで楽しく活動 体験里山 森林ボランティア 里山倶楽部

猪名川町森林ボランティア「里山倶楽部」は、私達に多くの恵みをもたらしてくれる里山林が、森林所有者の高齢化・担い手不足によって手入れされなくなる中で、森林所有者のみに委ねるだけではなく、県民共有の財産という認識のもと、町内の里山を再生・保全することを目的に、平成12年4月に発足しました。当初12人で初原めぐみの森を整備していましたが、活動目的に賛同する人達が徐々に増え、現在40人で、初原めぐみの森と内馬場の森で活動しています。

不要木を伐採し、内馬場の森を整備する里山倶楽部の皆さん

活動内容は、里山林の下草刈りや不要木の伐採、遊歩道整備などの他、クラフトや椎茸栽培などの楽しいメニューもあります。会員は「自由参加」で、原則として「弁当や交通費などは自分持ち」。「森は地元の財産」を念頭に、町内2カ所の活動地を拠点として、それぞれリーダーを選出し、さまざまな活動に取り組んでいます。

【活動日】
初原めぐみの森 第1日曜日と第3日曜日
内馬場の森 第2日曜日と第4日曜日

気軽に参加してください 里山倶楽部会長 舞田 清さん

里山倶楽部は、現役サラリーマンや子育て中のお母さん、第一線を退いた者など年齢層も幅広いですが、同じ目的を持ち和気あいあいと楽しく活動しています。設立当初に比べ人数も増えましたが、活動エリアも広く、まだまだ人手が足りません。興味のある方はぜひ声をかけてください。現在私達が整備している2カ所の里山は、歩いて30分～1時間の気持ちのいいハイキングコースです。4月下旬から5月上旬には、ミツバツツジがかわいい花を咲かせます。ぜひ一度山の楽しさを味わいに来てください。

「山に親しんでいたため、整備をする一方、荒廃した里山や松林を再生させるため、ボランティアの協力を得て、下草刈りや枝打ち、不要木の伐採・植林を行うなどの地道な事も行っています。今後、その地域に応じた多様な動植物が育つ、明るい里山を育てていくことを基本方針として、森林の保全に取り組んでいきます。」

記事およびボランティア団体への問い合わせは、農林商工課(766・8709)へ。

松茸山 昔の松林を取り戻そう 松茸山再生ボランティア

猪名川町では、松くい虫の発生などにより松枯れし荒廃した山をよみがえらせようと、平成15年度から松茸山再生ボランティアを募集し、松茸山の再生に取り組んでいます。現在、町内外から参加した150人のボランティアが、広根地区にある松茸山を整備しています。

ボランティアの活動日は、6月から翌年3月までの毎月1回。毎年、春に町が募集を行います。赤松以外の不要な木を伐採・除去し、地かき作業などを行い、最後に松くい虫に抵抗性のある「ひょうご元気松」の植林をします。再生活動以外にも、松茸狩りやバーベキュー大会を行いボランティア同士の親睦をはかったり、



2月の植林に備え、地かき作業を行うボランティアの皆さん

椎茸の植菌などをすることもあります。今後も、現在活動している山林を拠点として、山主とボランティア・町が協力し連携しながら「ひょうご元気松」の植林を町内に広めたいと考えています。

大野山を魅力ある里山に NPO法人 ひょうご森の倶楽部

森が好きで、森で遊びたい人、森で汗をかきたい人・・・ひょうご森の倶楽部には、森を守り・育て・生かし、人と自然が共存できる森づくりをめざしている人達が集まっています。現在、兵庫県下に21カ所の活動地があり、月1～2回のペースで里山再生活動を行っています。

猪名川町の大野山で活動する森の倶楽部のメンバーは、40～60歳の男女20人。阪神間を中心に遠くは神戸から参加しているメンバーもいます。山をこなく愛するメンバー達は、月に一度の大野山での活動以外にも、各地の山を掛け持ちし里山再生活動に取り組んでいます。

平成10年から始まった大野山での活動も今年で8年目。これまでに柏原生産森林組合と相談・協力しながら、雑木林・登山道の整備やあじさいの剪定などを行ってきました。平成14年には、10mを越す岩が2段重ねになった巨岩「太鼓岩」など、山の中腹の山林に埋もれていた5つの奇岩をめぐることができる遊歩道を造成し、大野山の新しい名所をつくりました。また、昨年の11月には、山頂付近の湿地帯一面にカラーの苗を植えました。今年の初夏にはあじさいとともにきれいな花を咲かせることでしょう。

学校里山 学校里山で楽しく環境学習 楊津小学校

楊津小学校では2年前、町からの呼びかけ・地域の方の協力を得て、20年間学校の北側に里山林を借り受けました。里山での学習が楽しく安全に行えるよう、町が歩遊道を整備しましたが、平成16年の台風23号の影響で里山学習ができない状況になりました。そのため、同校PTAや森林ボランティアが倒木の伐採・除去を行い、子ども達は再び自然観察ができるようになりました。平成17年度は、6年生が主に里山学習に取り組みました。総合学習の中で、役場職員を講師に迎え里山の学習をしたり、三田野鳥の会のメンバーに鳥の生態やパードウォッチングの方法を学び、里山の様子を観察しました。子ども達は双眼鏡を片手に遊歩道を歩き、たくさん鳥や鳥の巣を見つ、身近な里山での新しい発見に大喜び。見つけた鳥の種類を調べ、鳥の特徴などをまとめました。

今年開催する「のじぎく兵庫国体ボランティアを大募集」のじぎく兵庫国体では、競技の様子をインターネットで配信します。そのため、のじぎく兵庫国体映像配信ボランティアとしてプロが行う撮影補助・アシスタント補助をしていただく住民ボランティアを募集します。

対象 町内在住・在勤・在学の人(高校生以上)
募集人数 撮影補助8人、アシスタント2人
募集内容 応募資格 撮影補助ボランティアレスリング競技会場内での撮影補助(家庭用ビデオカメラを使用していること)がある人
お問い合わせは同委員会事務局(077-767・288)へ。

学校里山 学校里山で楽しく環境学習 楊津小学校

昨年11月には、伊丹小学校で行われた阪神北東民局主催の「こどもと地域の環境会議」に参加し、伊丹・川西・三田・宝塚市の小・中学校と一緒に環境学習を行い、自然環境について調べたことをお互い発表しました。楊津小学校では、里山学習を通じて、講師の皆さんや他校の子ども達など、さまざまな人達との交流の輪が広がっています。

「山に親しんでいたため、整備をする一方、荒廃した里山や松林を再生させるため、ボランティアの協力を得て、下草刈りや枝打ち、不要木の伐採・植林を行うなどの地道な事も行っています。今後、その地域に応じた多様な動植物が育つ、明るい里山を育てていくことを基本方針として、森林の保全に取り組んでいきます。」

記事およびボランティア団体への問い合わせは、農林商工課(766・8709)へ。

今年開催する「のじぎく兵庫国体ボランティアを大募集」のじぎく兵庫国体では、競技の様子をインターネットで配信します。そのため、のじぎく兵庫国体映像配信ボランティアとしてプロが行う撮影補助・アシスタント補助をしていただく住民ボランティアを募集します。

対象 町内在住・在勤・在学の人(高校生以上)
募集人数 撮影補助8人、アシスタント2人
募集内容 応募資格 撮影補助ボランティアレスリング競技会場内での撮影補助(家庭用ビデオカメラを使用していること)がある人
お問い合わせは同委員会事務局(077-767・288)へ。

里山の機能

流出する土砂を抑制します
森林内は、落枝・落葉・かん木・草などにより、地表が覆われているため、降雨などによる土壌の浸食や流出が抑えられます。

洪水や濁水を緩和します
森林は、落葉などの堆積物や土壌生物が住む表土がスポンジのような役割をし、雨水を地中に浸透させます。その機能は裸地の3倍といわれており、雨水をゆっくり河川に流す働きがあります。

地球温暖化防止の手助けをします
森林は、地球温暖化の主要な原因である二酸化炭素を吸収・貯蔵し、空気をきれいにして地球環境を良くしています。

おいしい水を与えてくれます
森林は、雨水が地中に浸透する過程で、水をろ過したり化学物質を吸い取って水を浄化します。森林の生み出す水は汚れがなく、岩石の間を通ることによりミネラル分が含まれます。

人を快適な気持ちにさせてくれます
森林には、美しい景観をはじめ、川のせせらぎや小鳥のさえずり、すがすがしい香り、木の実やキノコなどの味覚など、人の五感を通じて、快適に感じさせる機能があります。

悪徳業者に ご注意ください!

最近、あたかも上下水道部からの指示のように「町から委託を受けたので水道管の洗浄をさせてほしい」などの不審な勧誘電話が各家庭に相次いでかかっており、これに関する問い合わせや相談が同部に寄せられています。同部では、次のようなことは行っておりませんので、十分ご注意ください。

- ・お客様から依頼のない水質検査
 - ・宅内給水管の洗浄
 - ・浄水器の販売、あつせん
 - ・水道器具の取り替え
- 不審な点があれば、同部工務課(766・8703)へ。

川西・猪名川交通安全フェスティバル ふれあいうどん教室の参加者募集

川西・猪名川交通安全フェスティバルで実施する「ふれあいうどん教室」の参加者を募集します。

とき 3月11日(土)
ところ 猪名川町中央公民館2階 工作室(生涯学習センター内)
募集人数 1班(午前10時30分～11時30分)、2班(正午～午後1時)各10組
1組3～5人程度まで(各回先着順)
参加費 無料
申込み・問い合わせは、2月15日から電話で、生活環境課(766・8712)へ。

「のじぎく兵庫国体ボランティアを大募集」のじぎく兵庫国体では、競技の様子をインターネットで配信します。そのため、のじぎく兵庫国体映像配信ボランティアとしてプロが行う撮影補助・アシスタント補助をしていただく住民ボランティアを募集します。

対象 町内在住・在勤・在学の人(高校生以上)
募集人数 撮影補助8人、アシスタント2人
募集内容 応募資格 撮影補助ボランティアレスリング競技会場内での撮影補助(家庭用ビデオカメラを使用していること)がある人
お問い合わせは同委員会事務局(077-767・288)へ。

食を楽しむ講習会

とき 3月9日(木)午後1時30分～3時30分
ところ 総合福祉センター(ゆづあいセンター)
内容 第1部 元気な長生きのヒケツはお口の健康から、講師 朝田美鈴さん(兵庫県歯科衛生士会口腔ケア担当理事)
第2部 1つまで元気でおしく食べるコツ、講師 小林由佳さん(社会福祉協議会管理栄養士)

「のじぎく兵庫国体ボランティアを大募集」のじぎく兵庫国体では、競技の様子をインターネットで配信します。そのため、のじぎく兵庫国体映像配信ボランティアとしてプロが行う撮影補助・アシスタント補助をしていただく住民ボランティアを募集します。

対象 町内在住の中高生および高齢者とその家族
定員 20人程度
受講料 無料
持ち物 日頃使っている歯ブラシ・大きめのタオル
申込み・問い合わせは、3月4日まで同センター(766・1200)へ。

食を楽しむ講習会

「食を楽しむ講習会」のじぎく兵庫国体では、競技の様子をインターネットで配信します。そのため、のじぎく兵庫国体映像配信ボランティアとしてプロが行う撮影補助・アシスタント補助をしていただく住民ボランティアを募集します。

「食を楽しむ講習会」のじぎく兵庫国体では、競技の様子をインターネットで配信します。そのため、のじぎく兵庫国体映像配信ボランティアとしてプロが行う撮影補助・アシスタント補助をしていただく住民ボランティアを募集します。

対象 町内在住の中高生および高齢者とその家族
定員 20人程度
受講料 無料
持ち物 日頃使っている歯ブラシ・大きめのタオル
申込み・問い合わせは、3月4日まで同センター(766・1200)へ。